



New Status

発酵鶏糞植物調節剤





New Statusの作用機構

1. 収量増加 植物の生長に必要な養分、アミノ酸、ビタミンなどのさまざまな天然の生理活性物質が含まれる。光合成が促進され、作物の根の発育が促進、土壌中の栄養素が活性化され、作物組織の老化が防止され、作物の熟期が早まり、作物の栄養状態が改善される。

2. 品質向上 植物の生育を促進する種々の生長素を含み、有害なフリーラジカルによって引き起こされる障害を除去、作物の養分吸収を促進して品質を向上する。

3. 干ばつと耐寒性の向上 含有されるカリウムと核酸成分は気孔の開閉調節により耐干ばつ性を高め、豊富な遊離アミノ酸と炭水化物は植物の耐寒性を改善し、植物の霜害防止に大きな効果がある

4. 病害抵抗性 微量元素、生理活性成分等の栄養素により、作物の生理活性が向上し、病害虫に対する抵抗性が向上する。

。



組成

12.7%のアミノ酸、鶏糞由来の微量元素肥料（鉄、ホウ素、亜鉛、マンガン）、また鶏糞由来の重金属が微量含まれている。有益かつ無害の有機質肥料である。

ITEM	基準	分析結果
性状	褐色液体	←
密度, g/ml	/	1.1355
PH (1: 250希釈)	3.0-9.0	4.8
遊離アミノ酸, %	>10	12.7
鉄, g/L	/	18.49
ホウ素, g/L	/	3.03
亜鉛, g/L	/	2.48
マンガン, g/L	/	2.14
微量元素, g/L	> 20	26
不溶分, g/L	< 50	1
水銀, mg/kg	< 5	0.2
ヒ素, mg/kg	< 10	<0.01
カドミウム, mg/kg	< 50	9
クロム, mg/kg	< 50	14
分析結果	合格	



鶏糞発酵プラントとナノフィルターによる品質管理



発酵装置

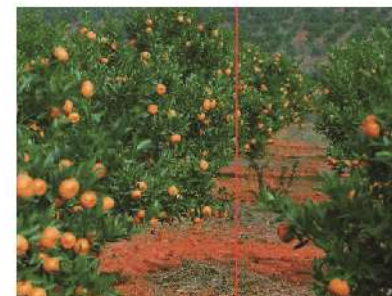
製造者：Qingdao Minhe
Biological Sci-tec Co., Ltd

多段透析・濃縮装置





柑橘類



作物	使用時期	希釈倍数	使用方法	効果
みかん、 その他の 柑橘類	萌芽期	500－700倍	7－10 日間隔 で2回	茎葉の発達と光合成 増進により速やかな 樹体の確立
	幼果期	400－600倍		光合成を高め、果実 の肥大を促進
	果実肥大 期	300－500倍	7－10 日間隔 で3回	病虫害抵抗性を高め、 果実の品質を向上



ブドウ



作物	使用時期	希釈倍数	使用 方 法	効果
ブドウ、 その他の 漿果類	萌芽期	500－700倍	7－10日間 隔で2回	茎葉および根部 の発達
	開花期	500－600倍	1回	花芽分化と生長 促進
	果実肥大 期	400－600倍	7－10日間 隔で3－4 回	品質向上、熟期 の促進



花卉類



作物	使用時期	希釈倍数	使用 方 法	効果
花卉類	育苗期	400－600 倍	7－10日間 隔で2回	光合成を促進と茎 葉および根部の発 達
	定植期	300－500 倍	7－10日 間隔で2- 4回	病害抵抗性、不良 環境耐性、草体を 強化、葉色を向上 と花芽分化と花の 品質向上



黄桃、桃など核果類



作物	使用時期	希釈倍数	使用方法	効果
黄桃、 桃など 核果類	萌芽期	500－700倍	7－10 日間隔 で2回	茎葉の発達と光合成 増進により速やかな 樹体の確立
	幼果期	400－600倍		光合成を高め、果実 の肥大を促進
	果実肥大 期	300－500倍	7－10 日間隔 で3回	病虫害抵抗性を高め、 果実の品質を向上



水稻



作物	使用時期	希釈倍数	使用方法	効果
水稻	育苗期 分けつ期 穂孕期 出穂期 登熟期	400—600倍	7—10 日間隔 で2—4 回	健苗育成、活着促進、 旺盛な生育、光合成 促進、頑丈な植物体 の育成、収量増加と 品質向上



豆類



作物	使用時期	希釈倍数	使用方法	効果
豆類	育苗期	500－700倍	7－10日 間隔で2 回	根部および茎葉部の健全な発育と病害に強い作物に育成
	伸長期	400－600倍	7－10日 間隔で2 回	充実した植物体の形成と着果率の向上
	開花結実期	400－600倍	7－10日 間隔で2 回	結実促進による収量促進



ウリ類



作物	使用時期	希釈倍数	使用方法	効果
キュウリ、 カボチャ などウリ 類	育苗期	500－700 倍	7－10日 間隔で2 回	根部および茎葉部の 健全な発育と病害に 強い作物に育成
	伸長期	400－700 倍	7－10日 間隔で1 回	充実した植物体の形 成と着果率の向上
	着果肥 大期	400－600 倍	7－10日 間隔で2 回	結実促進、耐病性向 上による品質向上と 収量促進



茶



作物	使用時期	希釈倍数	使用方法	効果
茶	萌芽期	400—600倍	7—10日 間隔で2— 4回	萌芽促進と健全な発育、生理活性を高めて良質な茶葉の育成
	茶摘み後	500倍	7—10日 間隔で2— 4回	光合成を高めて、樹体の充実による萌芽の促進、不良環境抵抗性の増進

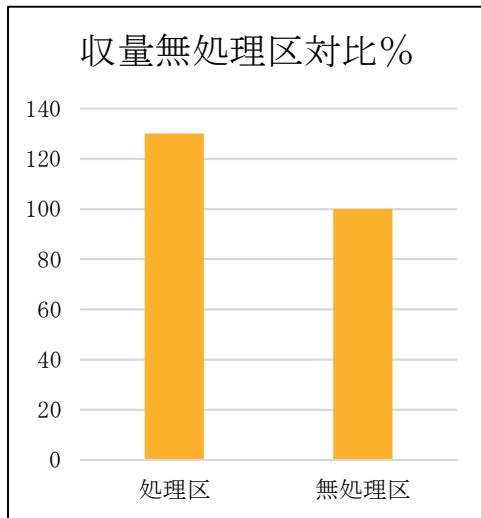


サヤインゲンに対する 効果試験

作物：サヤインゲン

濃度：500倍

結果：着果が促進され植物当たりの着果数が4個以上の増加が認められた。莢も長く、最終的に30%の収量増加が認められた。



セロリーに対する効果 試験

作物：セロリー

濃度：500倍 合計6回処理

結果：堅強な生育の結果、病害の発生が少なく、最終的に13.4%の増収が認められた。





の作物の生育試験例

トマト

濃度：500倍
結果：新植の場合7.8%、連年栽培で6.7%収量増。糖含量は10.9%増加した。

作物：トマト
濃度：使用基準に従う
結果：収穫開始時期の早まり10%増収。

作物：ナス
濃度：使用基準に従う
結果：着果の促進の結果28.93%増収。

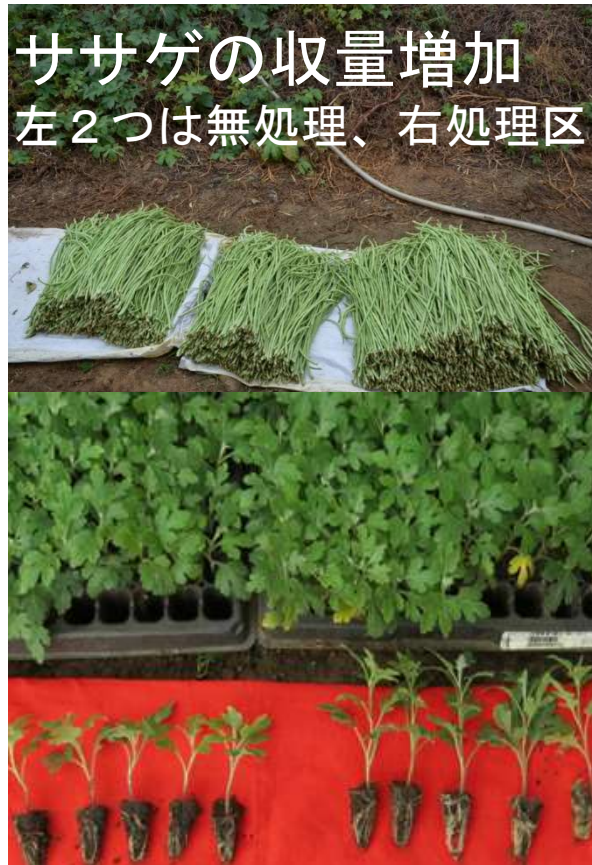
処理区

無処理区

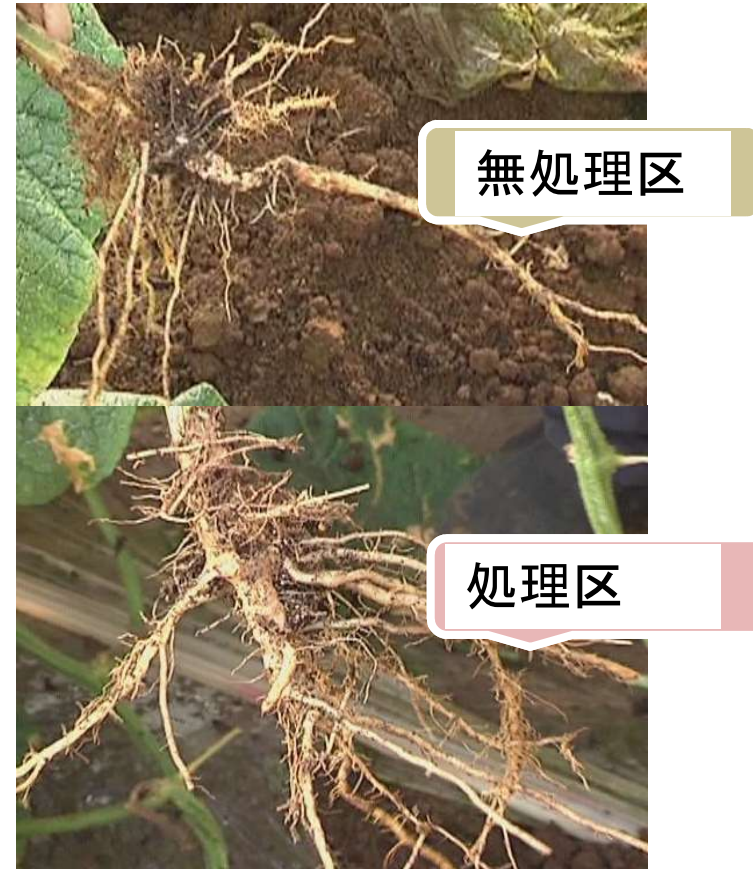


トマト：熟期の早まりと根部の発達が認められた。

試験風景



キュウリの根部の発達





試験風景

カーネーション 左処理区 右無処理区



リンゴ 左無処理区 右処理区





試験風景

桃

左無処理区 右処理区
健全な葉、花芽分化の促進



ブドウ
左無処理区
右処理区
健全な葉、果
実の肥大・品
質向上





試験風景



芝生の育成
上から1500倍、
800倍、無処理区
800倍区において
最も生育が良い効
果が得られた。



最後までご覧いただきありがとうございます
ございました。

興味を持たれ、試験的に使用してみ
たい方には無償サンプルを提供しま
す。奮ってお申込みください。

申し込み：有限会社ジョイコンサル
ティング (Tel:03-3650-7593)